(2)	I				机点	コンヒ.	ユータミ	} J -∫	仪	ン.	//\/
科目名		コンピュータシ	ノステム		授業形態	対ī	面授業/	遠隔擠	受業の	の併	用
担当教			茂成	実務授	業の有無		1	無	·=	_	
対象学	•		ステム科3年制			寺間数	78	義	演習:	習	実 験 技
必修 · :	選択 	必修	対象学年	1	開講	時期	前期	0			
授業概 授業の	要、目的、 進め方	基本情報技術者試験の出 ク、データベースなどを 構成する要素について理 識を習得します。	を効率よく体系的に学	習します。:	コンピュータ内	羽部での情	報表現方	法や、	コン	ピュー	ータを
学習目	目標)	基本情報技術者試験の出	出題範囲のコンピュー	タシステムに	こ関する問題だ	「理解でき	る。				
考図書	ト・教材・参	コンピュータ概論(ウィ	(ネット)								
回数		授業項目、内	容		学習	プ 方法・	準備学習	習・ 備	考		
1	コンピュータの基	礎知識		指定	教科書P2 ~	P31					
2	数値の表現			指定	教科書P32	~ P59					
3	数値の表現			指定	教科書P60 ~	~ P83					
4	コンピュータ構成	要素		指定	教科書P84 ~	~ P115					
5	コンピュータ構成	要素		指定	教科書P116	~ P139)				
6	基礎理論			指定	教科書P140	∼ P155	5				
7	ソフトウェア			指定	教科書P156	~ P179)				
8	システム構成要素			指定	教科書P180	∼ P213	3				
9	マルチメディア			指定	教科書P214	~ P219)				
10	マルチメディア			指定	教科書P220	~ P225	5				
11	ネットワーク			指定	教科書P226	~ P271	L				
12	データベース			指定	教科書P272	~ P302	2				
13	まとめ			プリ	ント						
	評	<mark>価方法・成績評価基</mark>	準			履修	上の注意	Ē.			
成績評価		变・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(落	(第)の4段階とする。	特に	なし						
天 赘 衽	経験教員の経歴										

					2 7 7/10	コンヒ.		7 1 7 7			<i>)</i>
科目名		データベース/ネッ	トワーク		授業形態	対ī	面授業/	遠隔掛	受業の	の併	用
担当教	員	渡辺	雄太	実務授業	業の有無		ı	有	· I		
対象学		AIシス	ステム科3年制			寺間数	52	講義		実習	実 実 験 技
必修・	選択	必修	対象学年	1	開講	時期	前期	0			
授業概	要、目的、 進め方	基本情報技術者試験の出業される各種技術についてはかせない要素であるデーす。	学ぶことでネットワ	ークの必要	性を認識する	と同時に、	現在のカ	大規模	シス	テムに	こは欠
学習目:	目標)	基本情報技術者試験の出	題範囲のデータベー	ス/ネットワ	リークに関する	問題が理	解できる	0			
	ト・教材・参	コンピュータ概論(ウイ	ネット)、その他配	付資料							
回数		授業項目、内容			学習	方法・	準備学習	習・備	青考		
1	OSI参照モデルとT	「CP/IP階層モデル		指定	教科書、及び	追加配布資	資料				
2	物理層を理解			指定	教科書、及び	追加配布]	資料	_			_
3	データリンク層を	理解		指定	教科書、及び	追加配布	資料				
4	ネットワーク層を	理解		指定	教科書、及び	追加配布道	資料				
5	IPアドレスとサブ	ネットマスク		指定	教科書、及び	追加配布資	資料				
6	トランスポート層	を理解		指定	教科書、及び	追加配布	資料				
7	5~7層とプロトコ	ルを覚える			教科書、及び						
8	ネットワークコマ	ンドを使用(実習)			ンドプロンプ に使用してネ				コマ	ンドを	Ė
9	データベースの仕	組みと正規化		指定	教科書(P298~	~P302)、	及び追加	配布資	料		
10	SQL文を学ぼう①	(実習)		指定	教科書(P277~	~P283)、	及び追加	配布資	料		
11	SQL文を学ぼう②	(実習)		指定	教科書(P284~	~P290)、	及び追加	配布資	料		
12	SQL文を学ぼう③	(実習)			教科書(P291~				料		
13	ACCESSでSQLク	エリ作成に挑戦(実習)			したACCESS(したデータを						
	評	<mark>価方法・成績評価基準</mark>	集			履修	上の注意	意			
成績評価	結果70%、授業態 基準は、A(40%)・ <mark>経験教員の経歴</mark>	度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(落刻		特に対	^{なし} &従事: 5 年	E					

考図書・ 回数 1 表 2 ワ 3 ワ 4 セ 5 セ 6 テ 7 テ	ļ	Excel 谷内田 茂成 AIシステム科3年制	実務授業	授業形態	対	面授業/	遠隔	授業	の併	用
対象授援学のできる学のできる <td>ļ</td> <td></td> <td>実務授業</td> <td>≝の右無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	ļ		実務授業	≝の右無						
必修・選授業の学習達スト・7女の女1234567		ΔΙシュテル料3年制				ı	無	浡	史	+ +
授業概の 学 学 学 子 図数 1 2 3 4 5 6 7	択				寺間数	26	講義	演習		実 実 技
授業の進 学習目 テキスト 考図数 1 2 7 3 7 4 セ 5 セ 7 テ		必修 対象学年 <u>対象学年</u>	1	開講	時期	前期	0		\triangle	
(到達目: フキスト 考図書: ロ数 ロ数 ロ	、目的、	MOS Excel試験の出題範囲のうち、表計算アス 模擬試験問題を用いながら段階的に学習しまで ケーションの活用方法を学ぶことで、今後、記 で習熟を目指します。	す。ビジネス	スシーンでは	欠かせなり	ハツールと	となっ	た表	計算	アプリ
考図書・ 回数 1 2 3 7 4 セ 5 セ 6 テ 7 テ		MOS Excel 2016 合格								
1 表 2 7 3 7 4 セ 5 セ 6 テ 7 テ	ト・教材・参・その他資料	MOS Excel2016 対策テキスト & 問題集(FOM	1出版)							
2 7 3 7 4 4 5 4 6 7 7 7		授業項目、内容		学習	<mark>了方法・</mark>	準備学習	習・位	備考		
3 7 4 2 5 2 6 7 7 7	長計算とは、模擬	問題インストール	指定	教科書P7 ∼	P25					
4 ± 5 ± 6 7 7	フークシートやブ	ックの作成と管理	指定	教科書P27 ←	~ P60					
5 ± 6 ± 7 ± 7	フークシートやブ	ックの作成と管理	指定	教科書P61 ^	~ P95					
6 π 7 π	ヹルやセル範囲の	データの管理	指定	教科書P97	~ P126					
7 -	セルヤセル範囲の	データの管理	指定	教科書P127	~ P14	9				
	テーブルの作成		指定	数科書P151	~ P160	0				
8 数	テーブルの作成		指定	教科書P161	~ P17	1				
	枚式や関数を使用	した演算の実行	指定	教科書P173	~ P18	4				
9 数	枚式や関数を使用	した演算の実行	指定	教科書P185	~ P19	9				
10 グ	ブラフやオブジェ: 	クトの作成	指定	教科書P201	~ P230	0				
11 グ	ブラフやオブジェ	クトの作成	指定	教科書P231	~ P24	9				
12 模	莫擬問題		指定	教科書P265	~ P29	4				
13 模	莫擬問題		指定	数科書P295	~ P319	9				
		 価方法・成績評価基準			履修	上の注意	意			
		授業態度・学習意欲20% B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。	特にな	î L						

(2) (3) El 4		- 推進ルレダ	(授業形態	コンヒ				
科目名担当教		標準化と経		中3/10/-		XJI	面授業/i		未り汁	州
		江村		天	業の有無	寺間数	26	無講演	実し	実し実
対象学		AIシ 必修	ステム科3年制 対象学年	1	<u> </u>		26 前期	義習	習	験 技
必lig * .	医扒	基本情報技術者試験のは						•	<u> </u> ト、サー	- ビス
授業概	要、目的、	マネジメント、システム					-			
授業の	進め方	プログラマを統括する? 者の目線に立ったエン?				-としての	D立場を理	単解する	ことで、	管理
学習目		基本情報技術者試験のと	出題範囲の標準化と経	営に関する	問題が理解で	きる。				
	ト・教材・参	システム開発と情報化	(ウイネット)、その	他配付資料						
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・備る	5	
1	プロジェクトの日	程計画		指定	教科書P142~	P149				
2	プロジェクトマネ	ジメント		指定	教科書P150~	P164				-
3	サービスマネジメ	ント		指定	教科書P166~	P173				
4	システム監査			指定	教科書P174~	P184				
5	システム戦略			指定	教科書186~P	191				
6	システム企画			指定	教科書P192~	P202				
7	経営戦略マネジメ	ント		指定	教科書P204~	P212				
8	技術戦略マネジメ	ント/ビジネスインダス	トリ	指定	教科書P213~	P226				
9	経営組織論/OR・I	E		指定	教科書P228~	P253				
10	品質管理			指定	教科書P254~	P272				
11	会計・財務			指定	教科書P273~	P286				
12	法務			指定	教科書P287~	P295				
13	標準化			指定	教科書P296~	P309				
	評	価方法・成績評価基	準			履修.	上の注意	E		
成績評価		度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(対	客第)の4段階とする。	特に	なし					
美務組	経験教員の経歴									

区 利日夕		love			授業形態		エータミ				
科目名	=	Java	- 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	<u></u>		Z/I	面授業/		又未	いが	·HI
担当教			千恵 	美務授	業の有無		104	有講	演	実	実実
対象学 必修・		AI> 必修	ノステム科3年制 対象学年	1	<u> </u>	時間数時期	前期	義	習	実 習	験技
	要、目的、	Javaプログラミングの サンプルプログラムを を開発しながら、プロ ます。	環境構築から、プログ もとにキャラクタ・ユ	ラムの基本 ーザ・イン	理論、発展的:	な問題解え	大の手法な ベースの	上学習 の簡易(しま [†] りな!	プログ	グラム
学習目	 標	サーティファイJavaプ	ログラミング能力認定	試験の合格	0						
(到達	目標)	Java言語を使用したア	プリケーションの開発	が出来る。							
	・その他資料	スッキリわかるJava入	門(インプレス)、そ	の他配付資	料						
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・値	考		
1	Javaの環境設定・	プログラムの書き方		指定	教科書P1~P!	57、別紙3	環境設定]	資料			
2	式と演算子			指定	教科書P59~F	95					
3	条件分岐と繰り返	L		指定	教科書P97~F	P134					
4	配列			指定	教科書P137~	P167					
5	メソッド			指定	教科書P169~	P206					
6	複数のクラスを用	いた開発		指定	教科書P221~	P263					
7	オブジェクト指向	とは		指定	教科書P269~	P297					
8	インスタンスとク	ラス		指定	教科書P299~	P328					
9	さまざまなクラス	機構		指定	教科書P331~	P372					
10	カプセル化			指定	教科書P373~	P402					
11	継承とは			指定	教科書P407~	P494					
12	多態性とは			指定	教科書P497~	P528					
13	例外処理			指定	教科書P561~	P598					
14	各章での課題プロ	グラム開発 		教員	作成資料						
	評	<mark>価方法・成績評価基</mark>	<u>集</u>			履修	上の注意	意			
成績評価		態度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(特に	_{なし} ě従事: 3 年	=					
天伤的	上映乳貝の栓座		ンノ	ヘノム肝チ	tル争・3円	-					

(2)				机点	リコノし	ュータミ	チロナ	- 仪	//	///^
科目名		アルゴリズム/システム開発		授業形態	対ī	面授業/	遠隔抗	受業0	り併月	₦
担当教		谷内田 茂成		業の有無			無	· - -	± 1 -	5 C
対象学		AIシステム科3			寺間数	52	義		デ 国 駅	美
必修・	選択	·····································	年 1	開講	時期	前期	\triangle			
授業概	要、目的、 進め方	基本情報技術者試験の出題範囲のう ルゴリズムの基本パターンを学び、 で、プログラマとして大切な問題解 いても演習を通して習得します。	配列操作や探索処理	、整列処理な	ど、伝統的	的アルゴ!	ノズム	に習熟	する	こと
学習目 (到達		基本情報技術者試験の出題範囲のア	ルゴリズム/システ	ム開発に関す	る問題が現	里解できる	3.			
考図書	スト・教材・参 ・その他資料	アルゴリズムとデータ構造(ウイネ	ット)、システム開							
回数		授業項目、内容		学習	<mark>方法・</mark>	準備学習	習・値	請考		
1	アルゴリズム入門		指定	教科書P2 ~	P13					
2	流れ図の基本パタ	ーン	指定	教科書P14 ~	~ P31					
3	データ構造		指定	教科書P32 ~	~ P71					
4	繰返し処理		指定	教科書P72 ~	~ P83					
5	整数の計算		指定	教科書P84 ~	~ P101					
6	配列操作		指定	教科書P102	~ P11	7				
7	疑似言語の基本パ	ターン	指定	教科書P118	~ P13	9				
8	疑似言語によるデ	一タ構造	指定	教科書P140	~ P16	1				
9	探索処理		指定	教科書P162	~ P19	7				
10	整列処理		指定	教科書P198	~ P23!	5				
11	ファイル処理		指定	教科書P236	~ P25	7				
12	文字列操作/ビッ	ト操作	指定	教科書P258	~ P288	8				
13	開発技術		指定	教科書P2 ~	P89					
							_	_	_	
	評	価方法・成績評価基準			履修	上の注意	意			
成績評価	結果70%、授業態 基準は、A(40%)・ 経験教員の経歴	度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(落第)の 4 段階	特に	なし						
2 (3/3 1/2	- 3 (3) () (- 1/11/11E									

		国家部除补禁/参	シニュ し				ユーグミ				
科目名	=	国家試験対策(確認)		th 7/4150	授業形態	小儿	面授業/		坟 美	· 	-HJ
担当教 対象学		江村		<u></u> 美務授	業の有無		10	無講	演	実	実実
対象字 必修・		AIシ 必修	/ステム科3年制 対象学年	1	<u> </u>	時期	13 後期	義	習	習	実験技
	要、目的、	必須問題(情報セキュリ 度が高いテーマの問題) い、その結果をフィー 対する学習の目安となり	ティ,擬似言語)及び覧 寅習で解法のテクニッ ドバックすることで自	選択問題(テクックを身につ	プノロジ系、マけ、応用力をき	ネジメン 養成しま ^っ	ト系、ス す。またス	トラ: E期的	に模	擬試	験を行
学習目	目標)	経済産業省主催 基本性	青報技術者試験 合格								
	ト・教材・参	試験問題(教員作成)									
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	· ・	備考		
1	情報セキュリティ			情報	(セキュリティ:	分野の試験	験を実施				
2	ハードウェア			//-	ドウェア分野	の試験を	実施				
3	ソフトウェア			ソフ	トウェア分野	の試験を	実施				
4	データベース			デー	タベース分野	の試験を	実施				
5	ネットワーク			ネッ	トワーク実施						
6	ソフトウェア設計			ソフ	トウェア設計	分野の試験	験を実施				
7	マネジメント			マネ	ジメント分野	の試験を	実施				
8	ストラテジ			スト	ラテジ分野の	試験を実涯	— —— 拖				
9	データ構造及びア	ルゴリズム		デー	タ構造及びア	ルゴリズ.	ム分野の記	式験を	実施	i	
10	ソフトウェア開発	(表計算)		ソフ	トウェア開発	(表計算)) 分野のi	 式験を	実施	į	
	評	価方法・成績評価基	· 準 			履修	上の注意	意			
成績評価	基準は、A(40%)・	. 授業態度・学習意欲20 B(40%)・C(20%)・D(刻		特に	 なし						
実務紹	経験教員の経歴										

(2)	1			,	利加	コンヒ.	1 - X =	카기카	-1文	/ /	<i>/</i> \^
科目名		秋期検定対	策		授業形態	対面	面授業/	遠隔控	受業の	の併用	1
担当教		谷内田		実務授業	業の有無			無	·= I	_	. l et-
対象学			⁄ステム科3年制			寺間数	81	義	濱 習	実 実習 験	実 技
必修・	選択	必修	対象学年	1	開講	時期	後期	0			
授業概義授業の意	要、目的、 進め方	各種ベンダー試験、ベン て、Java検定や情報処理 を用いた講義形式の他、	里検定など、自身のキー	ャリアパス	と習熟度にあ	った検定の	つ合格を目	目指し:	ます。	過去	
学習目		情報処理技術者能力認知									
(到達	· · ·	情報処理技術者能力認知	正試験 2級一部								
考図書	ト・教材・参	コンピュータ概論(ウィ) 全定過去問							
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・備	拷		
1	基礎理論			プリ	ント資料						
2	コンピュータ構成	要素		プリ	ント資料						
3	システム構成要素			プリ	ント資料						
4	ソフトウェア/ハ	ードウェア		プリ	ント資料						
5	マルチメディア			プリ	ント資料						
6	データベース			プリ	ント資料						
7	ネットワーク			プリ	ント資料						
8	セキュリティ			プリ	ント資料						
9	ビジネスインダス	トリ		プリ	ント資料						
10	法務			プリ	ント資料						
11	過去問題			過去	問題集						
12	過去問題			過去	問題集						
	· ···································	<mark>価方法・成績評価基</mark>	準			履修.	上の注意	意			
成績評価	基準は、A(40%)・	. 授業態度・学習意欲20 B(40%)・C(20%)・D(タ		特にフ	なし						
夫務紹	経験教員の経歴										

之 <mark>科目名</mark>		秋期国家試験	 対策		授業形態	対応	面授業/					
担当教		江村	智史	実務授	L 業の有無			無				
対象学	— <u>————</u> 科	AIシ	⁄ステム科3年制		単位日	寺間数	170	講義	演習	実習	実験	実技
必修・	選択	必修	対象学年	1	開講	時期	後期	0		_		
授業概授業の	要、目的、 進め方	基本情報技術者試験取 出題頻度の高い過去問題										
学習目		経済産業省主催 基本性	青報技術者試験 合格	.								
(到達	^{目標}) 											
	・その他資料	基本情報技術者 午後問	問題集(ウイネット)									
回数		授業項目、内	<mark>容</mark>		学習	方法・	準備学	習・位	備考			
1	情報セキュリティ			指定	·教科書P2~P	30						
2	ハードウェア			指定	ː教科書P36~Ⅰ	P46						
3	ソフトウェア			指定	ː教科書P50~Ⅰ	P62			_			
4	データベース			指定	:教科書P68~I	P80						
5	ネットワーク			指定	ː教科書P86~Ⅰ	98						
6	ソフトウェア設計			指定	'教科書P102~	-P118						
7	マネジメント			指定	:教科書P124~	-P138						
8	ストラテジ			指定	:教科書P144~	-P156						
9	データ構造及びア	ルゴリズム		指定	:教科書P160~	-P198						
10	ソフトウェア開発	(表計算)		指定	:教科書P284~	-P303						
11	模擬試験①			第1	回模擬試験の	実施						
12	模擬試験②			第 2	回模擬試験の	実施						
13	模擬試験③			第 3	回模擬試験の	実施						
	評	価方法・成績評価基	· 準			履修	上の注	意				
成績評価	基準は、A(40%)・	授業態度·学習意欲20 B(40%)·C(20%)·D(§		特に	なし							
実務経	経験教員の経歴							,	-	-		

担当教員	シラバス
対象学科 Alシステム科3年制 単位時間数 54 3	併用
必修 対象学年 1 開講時期 後期 ○ 授業概要、目的、授業の進め方 デブリケーション制作の最初から最後のステップまでを個人で行い、アブリケーション開発における信 スキルを修得する科目です。企画、仕様設計、プログラミング、ユーザーインタフェースなどのアブション開発をする上で必ず必要となる技術を網羅します。授業の最後には、作品の展示発表会を行い、の情報公開とその評価までを行います。 学習目標 (到達目標) 企画・制作したアプリケーションの完成と発表 回数 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 1 進級制作概要説明 2 企画制作 ブリント資料 概要説明 2 企画制作 ブリケーション開発に必要な各自資料 4 アプリケーション α版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 5 アプリケーション 角版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 6 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
技業概要、目的、	実験技
授業概要、目的、	
(到達目標) 企画・制作したアプリケーションの完成と発表 テキスト・教材・参考図書・その他資料 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 回数 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 1 進級制作概要説明 プリント資料 概要説明 2 企画制作 プリケーション α版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 4 アプリケーション α版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 5 アプリケーション β版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 6 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	リケー
考図書・その他資料 Java、eclipse開発環境、プラウザ 回数 授業項目、内容 学習方法・準備学習・備考 1 進級制作概要説明 プリント資料 概要説明 2 企画制作 アプリケーション 開発に必要な各自資料 4 アプリケーション の	
1 進級制作概要説明 プリント資料 概要説明 2 企画制作 プリント資料 企画の立て方 3 アプリケーション α版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 4 アプリケーション α版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 5 アプリケーション β 版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 6 アプリケーション β 版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 7 アプリケーション マスタ版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
2 企画制作 プリント資料 企画の立て方 3 アプリケーション α版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 4 アプリケーション α版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 5 アプリケーション β版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 6 アプリケーション タ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 7 アプリケーション マスタ版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 7 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
3 アプリケーション α 版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 4 アプリケーション α 版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 5 アプリケーション β 版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 6 アプリケーション タ 版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 7 アプリケーション マスタ版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
4 アプリケーション α 版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 5 アプリケーション β 版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 6 アプリケーション β 版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 7 アプリケーション マスタ版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
5 アプリケーション β 版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 6 アプリケーション β 版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 7 アプリケーション マスタ版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
6 アプリケーション β 版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料 7 アプリケーション マスタ版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
7 アプリケーション マスタ版制作 アプリケーション開発に必要な各自資料 8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
8 アプリケーション マスタ版提出 アプリケーション開発に必要な各自資料	
9 発表 発表資料の作成 PowerPoint 日本 日本 日本 <	
評価方法・成績評価基準 履修上の注意	
作品完成度50%、出席率30%、授業態度・学習意欲20% 成績評価基準は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。 特になし 実務経験教員の経歴	

科目名		Java応用 I		授業形態	対面	面授業/	遠隔授業	の併用	
担当教		亀山 千恵	実務授	業の有無			有		
対象学	科	AIシステム科3年制		単位的	寺間数	54	講 演 義 習	実験	実技
必修・	選択	必修 対象学年	1	開講	時期	後期			
授業概.	要、目的、 進め方	グラフィカル・ユーザ・インタフェース (G グ環境の構築、ならびにプログラミング技能 次元座標を用いたペイントツールの開発や、 つの画面に配置するカレンダーなどのプログ	の習得につ スレッドを	いて、実践的; 利用したスト	な課題を追	通して学習	習します。	画面上のコ	=
学習目標		サーティファイJavaプログラミング能力認定 Java言語を使用した実践的なプログラム開発		۰					
	ト・教材・参	教員作成資料、その他配付資料							
回数		授業項目、内容		学習	方法・	準備学習	習・備考		
1	開発ツールの環境	設定	教員	作成資料					
2	レイアウトの利用		教員	作成資料					
3	複雑なレイアウト	の利用	教員	作成資料					
4	コンポーネントの	利用	教員	作成資料					
5	イベントリスナと	は	教員	作成資料					
6	プログラムからの	コンポーネントの利用	教員	作成資料					
7	ファイルの読み書	き	教員	作成資料					
8	Threadの利用		教員	作成資料					
	評1	価方法・成績評価基準			履修	上の注意	意		
成績評価		態度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。 シン		va」を履修して					

(2)	1			1						ノフバス
科目名		コンピュータシス			授業形態	対面	面授業/		受業の1	併用
担当教		谷内田		実務授	業の有無			無		
対象学			ステム科3年制			寺間数	27	義	演 実 習 習	実験技
必修・	選択 	必修	対象学年	1	開講	時期	後期	0		
授業概:	要、目的、 進め方	応用情報技術者試験の比 ク、データベースなどで 持つエンジニアとなれる トウェアに関する知識で	を効率よく体系的に学るよう、ハイレベルな!	習します。	高度なIT人材	となるため	かに必要な	:応用的	り知識と	対能を
学習目	目標)	応用情報技術者試験のと	出題範囲のコンピュータ	タシステム	に関する問題	が理解でき	きる。			
	ト・教材・参	応用情報処理技術者 「	ベーステクノロジ編」	(TAC)						
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	図・備	考	
1	基礎理論			指定	教科書P2 ~	P44				
2	データ構造とアル	ゴリズム		指定	教科書P45 ~	~ P94				
3	データ構造とアル	ゴリズム		指定	教科書P95 ~	~ P114				
4	コンピュータシス	テム		指定	教科書P115	~ P148	3			
5	コンピュータシス	テム		指定	教科書P149	~ P168	3			
6	システム構成技術			指定	教科書P169	~ P210)			
7	ソフトウェア			指定	教科書P211	~ P233	3			
8	ソフトウェア			指定	教科書P234	~ P264	1			
9	ハードウェア			指定	教科書P265	~ P286	ô			
	評	価方法・成績評価基	· 準			履修	上の注意	意		
成績評価		30%、授業態度・学習意 B(40%)・C(20%)・D(刻		٦٦٠	ンピュータシス	テム」を履	侵修してい	ること		
大小市	MX X 只 V 性 正									

科目名		データベース	ス応用		授業形態	対i	面授業/シ	遠隔授業	€の伊	押	
担当教		亀山	千絵	実務授	業の有無			無			
対象学	拉	AIS	レステム科3年制		単位	拉時間数	27	講演習	実習	実験	実技
必修・)	選択	必修	対象学年	1	開	講時期	後期	ΔΟ			
授業概 授業の う	要、目的、	応用情報技術者試験の るために必要な応用的 系の周辺技術要素であ に、高度なSQLを使い	知識と技能を持つエン るデータベース分野!	ンジニアとな こついて、テ	れるよう、	ハイレベル	な講義を行	テいます。	テク	ノロシ	ジ
学習目標 (到達)		応用情報技術者試験の 応用的なSQLが記述で		-スに関する	問題が理解	できる。					
	ト・教材・参・その他資料	応用情報技術者試験対	策テキスト(TAC)、	その他配付	資料						
回数		授業項目、內	J容		学	習方法・	準備学習	習・備考			
1	データベースのモ	デル		指定	教科書P18	~P41					
2	正規化			指定	教科書P42	~P50					
3	SQL言語			指定	教科書P51	~P80					
4	トランザクション	処理		指定	教科書P82	~P90					
5	DBMS機能			指定	教科書P91	~P104					
	評1	価方法・成績評価基	基準			履修	上の注意	is an analysis of the second s			
成績評価		態度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする	・	ータベース/	⁽ ネットワーク	う」を履修	しているこ	٤		

			<u>. </u>		ンピュータ		
	ネットワーク	応用	括	E業形態	対面授業	/遠隔授	業の併用
	渡辺		実務授業の			無	
		ステム科3年制		単位時間		我 省	実験
選択	必修	対象学年	1	開講時期	期 後其		
見、目的、 ≦め方	応用情報技術者試験の出るために必要な応用的知 系の周辺技術要素である サービスを学ぶとともに	口識と技能を持つエン るネットワーク分野に	ジニアとなれる ついて、TCP/	らよう、ハイレ IPをはじめと「	ベルな講義	を行います。	、テクノロシ
i標) 標) 	応用情報技術者試験の出	d 題範囲のネットワー	クに関する問題	見が理解できる	0 0		
ト・教材・参・その他資料	応用情報技術者(TAC出)	版)、その他配付資料					
	授業項目、内容	容		学習方	法・準備等	学習・備者	S S
プロトコルの全体	像		指定教和	斗書(P262~P2	266)、及び追	加配布資料	ł
データリンク層			指定教和	斗書(P267∼P2	<u></u> 269)、及び追	加配布資料	<u></u>
ネットワーク層			指定教和	斗書(P270∼P2	268)、及び追	加配布資料	ł
トランスポート層	~アプリケーション層		指定教和	斗書(P279~P2	284)、及び追	加配布資料	ł
AN間接続~ネッ	トワークの評価		指定教利	斗書(P285~P3	308)、及び追	加配布資料	ł
暗号技術~認証			指定教利	斗書(P314∼P3	321)、及び追	加配布資料	}
PKI(公開鍵基盤)~	-脅威と対策		指定教和	斗書(P322∼P3	332)、及び追	加配布資料	ł
青報セキュリティ	マネジメント		指定教和	斗書(P335∼P3	350)、及び追	加配布資料	ł
応用情報技術者試	験過去問題の実践と対策		応用情報	_{因過去問題、及}	なび追加配布:	資料	
	<mark>価方法・成績評価基</mark>				履修上の流	È意	
基準は、A(40%)・		§第)の 4 段階とする。	「データ	ベース/ネット	・ワーク」を履	修している。	Z Ł
甚準			隼は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。	it、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。	■は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の 4 段階とする。	■は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の 4 段階とする。	■は、A(40%)・B(40%)・C(20%)・D(落第)の 4 段階とする。

							コンピ					
科目名		制御基礎(AI)			業形態	対同	面授業/	遠隔	授業	の併	·用	
担当教			茂成	実務授業	業の			T	無)elle	ا جي	
対象学		AI۶	ノステム科3年制				寺間数	54	講義	演習	署	実 実 験 技
必修・	選択	必修	対象学年	1		開講	時期	後期	\triangle		\circ	
	<mark>要、目的、</mark> 進め方	ハードウェアの制御に 生が自発的に試行錯誤 ボットプログラミングの 習します。	しながら実習課題に取	り組むこと	で、・	センサー	を使った特	勿理実験、	計測	制御	実験、	П
学習目 (到達		ハードウェアを使ったタ	制御に必要な基礎知識	・技術の習	得							
考図書	スト・教材・参 書・その他資料	LEGO MINDSTORMS										
回数		授業項目、内	容			学習	方法・	準備学習	望・1	備考		
1	ロボットキットの	組み立て		プリ	ント	ロボッ	ト組立て					
2	ロボットキッド	課題① タッチセンサ		プリ	ント	タッチ	センサ		_		_	
3	ロボットキッド	課題① タッチセンサ		プリ	ント	タッチ	センサ					
4	ロボットキッド	課題② 超音波センサ	プリ	ント	超音波	センサ						
5	ロボットキッド	ットキッド 課題② 超音波センサ					センサ					
6	ロボットキッド	ボットキッド 課題② 超音波センサ ボットキッド 課題③ カラーセンサ					センサ					
7	ロボットキッド	課題③ カラーセンサ		プリ	ント	カラー	センサ					
8	ロボットキッド	課題④ 総合(複数のセ	ンサの使用)	プリ	ント	複数の	センサのイ	吏い方				
9	ロボットキッド	課題④ 総合(複数のセ	ンサの使用)	プリ	ント	複数の	センサのイ	吏い方				
	評	<mark>価方法・成績評価基</mark>	· 準 ———————————————————————————————————				履修	上の注意	意			
成績評価		授業態度・学習意欲20 B(40%)・C(20%)・D(3		特に:	なし							

		*#95	=+ Fe>++**				ユーグミ					•//
科目名	<u> </u>	春期国家		th 7/15	授業形態	外口	面授業/		坟 弟	€UJ17	†用	
担当教 対象学			i村 智史 	天	業の有無 _{単位}	土 月日 米左	100	無講	演	実	実	実
対象字 必修・		 必修	AIシステム科3年制 対象学年	2		寺間数 時期	120	義	演 習	実習	験	技
北 修 • 5	医扒	此间	刈象子牛		一种	时期	削热	0				
授業概義授業の	要、目的、 進め方		検取得を目標とする対策授 去問題を中心に対策を行っ	-								
学習目		経済産業省主催	基本情報技術者試験 合格									
	ト・教材・参	基本情報技術者	午後問題集(ウイネット)									
回数		授業項目、	内容		学習	方法・	準備学習	国·1	備考			
1	情報セキュリティ			指定	图教科書P2~P	30						
2	ハードウェア			指定	2教科書P36~I	P46						
3	ソフトウェア			指定	□教科書P50~I	P62						
4	データベース			指定	₹ 数科書P68~I	P80						
5	ネットワーク		指定	E教科書P86~Ⅰ	98							
6	ソフトウェア設計		指定	数科書P102~	P118							
7	マネジメント			指定	图教科書P124~	-P138						
8	ストラテジ			指定	图教科書P144~	P156						
9	データ構造及びア	ルゴリズム		指定	数科書P160~	P198						
10	ソフトウェア開発	(表計算)		指定	图教科書P284~	P303						
11	模擬試験①			第1	回模擬試験の	実施						
12	模擬試験②			第 2	回模擬試験の	実施						
13	模擬試験③			第 3	回模擬試験の	実施						
	評	<mark>価方法・成績評</mark>	価基準			履修	上の注意	意				
成績評価	基準は、A(40%)・	授業態度・学習意 B(40%)・C(20%)	欲20% ・D(落第)の4段階とする。	特に	なし							
実務紹	経験教員の経歴											

(2)							ュータ専		-		
科目名		U-22プログラミンク			授業形態	対	面授業/シ		受業の	併用	
担当教			由紀子	実務授業			1	有	油一生	· 🖈	\$
対象学			マステム科3年制		単位時		96	講義	演 実 習 習	験	実技
必修・	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	前期		0)	
授業概: 授業の:	要、目的、 進め方	経済産業省/総務省/ コンテスト」に出品す バックを繰り返し、個 て、魅力あるプレゼン	るプログラム作品を制 人またはグループで1	川作します。企 一つの作品を作	画、仕様設計	十、プロ:	グラミング	゛、テ	スト、	フィー	- F
学習目 (到達		U-22プログラミングコ 審査基準を考慮し、求			゛出来る。						
	スト・教材・参 ・その他資料	なし									
回数		授業項目、內	容		学習	方法・	準備学習	習・値	青考		
1	アイデア発想			実習	(アイデア抽片	出)					
2	企画立案, 企画書	作成		実習	(企画書作成)						
3	仕様設計			実習	(設計書作成)						
4	アルファバージョ	ン制作プログラミング	実習	(制作)							
5	テストケース作成	, <i>デ</i> バッグ	実習	(制作)							
6	アルファバージョ	r ストケース作成,テハック 									
7	ベータバージョン	制作プログラミング		実習	(制作)						
8	テストケース作成	,デバッグ		実習	(制作)						
9	ベータバージョン	提出		定期報	译告						
10	マスタバージョン	制作プログラミング		実習	(制作)						
11	テストケース作成	,デバッグ		実習	(制作)						
12	マスタバージョン	提出		定期執	3告						
13	PV制作			実習	(制作)						
14	プレゼン資料作成			実習	(制作)						
	<u> </u> 	 価方法・成績評価基	<u></u> 進			履修	上の注意	<u></u>			
成績評価	度30%、提出物20% 基準は、A(40%)・	%、出席率30%、授業態 B(40%)・C(20%)・D(3	度・学習意欲20% 客第)の 4 段階とする。								
実務紹	経験教員の経歴		シ	ステム開発	従事:3年						

科目名		Java応用	II		授業形態	対面	面授業/	遠隔:	授業の [.]	併用
担当教		亀山	千恵	実務授業	業の有無			有		
対象学	科	AIシ	ステム科3年制		単位田	寺間数	72	講義	演 習 習	実験技
必修・	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	前期	\triangle	0	
授業の		グラフィカル・ユーザ グ環境の構築、ならびい TCP/IPを用いたソケッ 務に近いプログラミング	こプログラミング技能 トプログラミングや、	炎の習得につ	いて、実践的	な課題を追	通して学習	引しま	す。UD	Pや
学習目標 (到達		OCJP Bronze試験の合材 Java言語を使用した実践		が出来る。						
	ト・教材・参・その他資料	教員作成資料、その他配	记付資料							
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・化	苗考	
1	TCP/IPを利用した	-通信プログラム		教員	作成資料					
2	UDPを利用した通	信プログラム		教員	作成資料					
3	JDBCを利用したフ	プログラム		教員	作成資料					
4	OJCPBronzeの試験	美対策		教員	作成資料					
	評1	価方法・成績評価基	· <mark>準</mark>			履修	上の注意	意		
成績評価		70%、授業態度・学習意 B(40%)・C(20%)・D(タ	 客第)の 4 段階とする。		va」「Java応用	-	多している	こと		

科目名		Webアプリケー	ション丨	授業形態 対面授業/遠隔授業の併用							
担当教		亀山	千恵	実務授	業の有無			有			
対象学	拉	AI۶	ノステム科3年制		単位問	寺間数	48	講義	演 習 習	実験技	
必修・	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	前期	\triangle	0		
授業の		ウェブ・ブラウザ上で! なサイト構成を実現す より動的なホームペー しっかりと身に付けま	るために、テーブル ジを構築する技能を	などの表現技	法を取得しま ⁻	す。また、	JavaScr	iptを	活用する	ことで、	
学習目標		HTML、JavaScriptを利	J用したWEBアプリク	ケーション開	発が出来る。						
	ト・教材・参 ・その他資料	教員作成資料、その他は	配付資料								
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・個			
1	Webの基礎知識			教員	作成資料						
2	コンテンツ制作基	椪		教員	作成資料						
3	ページデザイン			教員	作成資料						
4	リッチコンテンツ	デザイン		教員	作成資料						
5	サイドデザイン			教員	作成資料						
	·····································	価方法・成績評価基	準			履修	上の注意	意			
成績評価		態度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(3			^{なし}	F					

\sim					-171711	<u> </u>		, , , ,	1 1/		_	
科目名		Linux			授業形態	対ī	面授業/治	遠隔:	授業	の併	押	
担当教		渡辺	雄太	実務授	業の有無			有				
対象学	时	AIシ	ステム科3年制		単位問	寺間数	48	講義	演習	実習	実験	実技
必修・対	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	前期	\triangle		0		
授業概 授業の)	要、目的、 進め方	インターネット上のサーサービスのインストールを習得し、Webサーバのテクノロジに習熟しま	レと運用方法を基本だ やDNSサーバ、Mail [・]	から学びます	。Linuxサーバ	ぶ のオペレ	ーション	に必ら	要な名	№種 =	マン	ノド
学習目(サーバの構築										
		新しいLINUXの教科書(CENTOSとvirtualbox、		· 未式会社)、								
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	留・位	带考			
1	LINUXを使ってみ	よう~シェルの便利な機	能能	指定	教科書(P1~P	48)、及び	が追加配布 かんりょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	資料				
2	ファイルとディレ	クトリ〜ファイル操作		指定	教科書(P49~	P89)、及	び追加配	布資料	斗			
3	探す、調べる~テ	キストエディタ		指定	教科書(P91~	P127)、7	及び追加西	己布資	料			
4	bashの設定~ファ	イルパーミッションとえ	スーパーユーザ	指定	教科書(P129~	~P165)、	及び追加	配布資	資料			
5	プロセスとジョブ	~標準出力とパイプライ	指定	教科書(P167~	~P197)、	及び追加	配布資	資料				
6	テキスト処理~高	度なテキスト処理	指定	教科書(P201~	~P254)、	及び追加	配布資	資料				
7	シェルスクリプト	を書こう~シェルスクリ	プトを活用しよう	指定	教科書(P257~	~P334)、	及び追加	配布資	資料			
8	アーカイブと圧縮	〜ソフトウェアパッケー	-ジ	指定	教科書(P357~	~P420)、	及び追加	配布資	資料			
9	プロキシサーバ制	作演習		CEN	TOSとvirtualk	oox、及び	追加配布	資料				
10	WEBサーバ制作演	習首		CEN	TOSとvirtualk	oox、及び	追加配布	資料				
11	DNSサーバ制作演	羽白		CEN	TOSとvirtualk	oox、及び	じ 追加配布	資料				
12	MAILサーバ制作演	習		CEN	TOSとvirtualk	oox、及び	じか配布	資料				
	評	価方法・成績評価基	- 準			履修	上の注意	息				
成績評価		習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(タ				-						
天於於	験教員の経歴	1	シ	ステム開う	き従事:5年	F						

(2)				217 1 7	為コンヒ	<u> </u>	וווד	1/	/ // .
科目名	トレロボ制作(F	Python)		授業形態	対ī	面授業/	遠隔抗	受業の	併用
担当教員	谷内田	茂成	実務授業	業の有無		1	無		
対象学科	AIシ	ステム科3年制		単位	時間数	48	講義	演 習 習	実 実 類 対
必修・選択	必修	対象学年	2	開調	構時期	前期	\triangle	С	
授業概要、目的、 授業の進め方	ハードウェアの制御に動 動走行ロボットを用いて 理実験、計測制御実験、 するためのロボット制作	て、学生が自発的に試 ロボットプログラミ	行錯誤しな	がら実習課題	夏に取り組る	むことで、	セン	サーを	使った物
学習目標 (到達目標)	ハードウェアを使ったサ	削御に必要な基礎知識	・技術の習	得					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ロボトレース(F0000)								
回数	授業項目、内	容			<mark>習方法・</mark>				
1 ロボトレース ハ	ードウェアの仕組み		プリ	ント ハート	・ウェア&	ソフトウェ	ェア環	境	
2 ロボトレース ソ	フトウェア開発環境の設	定	プリ	ント ハート	·ウェア&	ソフトウェ	ェア環	境	
3 ロボトレース モ	ーター制御プログラム		プリ	ント モータ	マー制御				
4 ロボトレース モ	ーター制御プログラム		プリ	ント モータ	 ▼一制御				
5 ロボトレース モ	ーター制御プログラム		プリ	ント モータ	マー制御				
6 ロボトレース 光	センサ&コーナーの曲率	の関係	プリ	ント 光セン	/サ値と曲	率の関係			
7 ロボトレース 光	センサ&コーナーの曲率	- の関係 	プリ	ント 光セン	/サ値と曲	率の関係			
8 ロボトレース 光	センサ&コーナーの曲率		プリ	ント 光セン	―― ソサ値と曲	率の関係			
9 ロボトレース 総	洽 (光センサを使った∃	モーター制御)	プリ	ント 光セン	/サ値とモ	ーター制行	卸		
10 ロボトレース 総	洽 (光センサを使った∃	モーター制御)	プリ	ント 光セン	/サ値とモ	ーター制行	卸		
11 ロボトレース 総	i合 (光センサを使った∃	モーター制御)	プリ	ント 光セン	/サ値とモ	ーター制行	卸		
12 ロボトレース 総	☆ (光センサを使った∃	モーター制御)	プリ	ント 光セン	/サ値とモ	ーター制行	卸		
評	価方法・成績評価基	準			履修	上の注意	意		
課題評価50%、出席率30% 成績評価基準は、A(40%)・ 実務経験教員の経歴			特に対	なし					

科目名		就職実務	I		授業形態	対同	面授業/シ	遠隔	授業	の併	押	
担当教		山本	由紀子	実務授業	業の有無			無				
対象学	时	AIシ	⁄ステム科3年制		単位時	寺間数	12	講義	演 習	実習	実験	実技
必修・対	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	後期	\triangle		0		
授業概 授業の	要、目的、 進め方	就職活動を本格的に始 職業や業界について調 また、様々な手法によ	査し、目指す業界、	職種について	理解を深めま	す。			を作成	えしま	す。	
学習目標 (到達)		業界や職種について理解	解を深め、自己分析	を行うことが	できる。							
	ト・教材・参・その他資料	勝つための就職ガイド	Success(ウイネッ	ト)、その他に	配付資料							
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	望・ 1	備考			
1	就職活動の心構え			指定	教科書P1~P1	13						
2	就職活動の流れ			指定	教科書P14~F	P17						
3	自分自身を知る			指定	教科書P18~F	² 26						
4	職業を知る			指定	教科書P27~F	29						
5	情報収集のポイン	 		指定	教科書P36~F	237						
	評1	価方法・成績評価基	<u>準</u>			履修	<mark>上の注意</mark>	急				
成績評価		受業態度・学習意欲20% B(40%)・C(20%)・D(シ		特に3。	なし							

(2)				<u> </u>		コンピ								
科目名		ベンダー試験			授業形態	対面	面授業/		授業	の併	押			
担当教	-	江村		実務授業				無	油	#	⊕ [=			
対象学			ノステム科3年制		単位時		81	講義	演習	実習	実験			
必修・	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	後期	0						
授業概義	要、目的、 進め方	国際的なIT関連資格・記 出題頻度の高い過去問題			尋を目標とす ∙	る対策授訓	業です。							
学習目		CompTIA Security+の1	合格											
	ト・教材・参	Security+ セキュリテ	ィ社会の必修科目(ウ	7チダ人材開:	発センタ)									
回数		授業項目、内	·····································		学習	<mark>'方法・</mark>	準備学	習・1	備考					
1	情報セキュリティ	の概要		指定教	枚科書P1∼P1	1								
2	暗号技術			指定教	枚科書P13∼P	52				_	_			
3	ネットワークと認	証の基礎		指定教	枚科書P53∼P	94								
4	多様なネットワー	ク技術とセキュリティ	指定教	 枚科書P95∼P	137									
5	攻撃者の概要		指定教	枚科書P139∼	P180									
6	情報セキュリティ	ポリシーと脆弱性検査		指定教	枚科書P181∼	P206								
7	認証技術			指定教	效科書P207∼	P243		_	_					
8	アクセス制御と強	化、環境整備、物理セキ	ニュリティ	指定教	枚科書P245∼	P279								
9	無線LAN、モバイ	ル機器、テレワーキング	でとSNS、仮想化技術	指定教	指定教科書P281~P305									
10	ーー モニタリング、ロ	グ、フォレンジックス、	冗長構成、事業継続性	生計画 指定教	→ 対書P307~	P338								
11	模擬試験①			第1回	回模擬試験の別	 実施								
12	模擬試験②			第2回	回模擬試験の乳	実施								
13	模擬試験③			第3回	回模擬試験の別	 実施								
	評	価方法・成績評価基	<u>準</u>			履修.	上の注意	意						
成績評価		. 授業態度・学習意欲20 B(40%)・C(20%)・D(3		特にな	L									
大小力心	が大気の性症													

(2)							机流] コ ノ に	ユーダミ	子]-		ン) /	\ <u> </u>	
科目名			家試験対策				業形態	対ī	面授業/	遠隔	授業	の伊	押		
担当教員			江村 智史		実務授	業の			ı	無	2100		ا ط	<u></u>	
対象学科				ム科3年制				寺間数	120	講義	河 習	実習	実験	実 技	
必修・選択		必修	対	象学年	2		開講	時期	後期	0					
授業概要、目的 授業の進め方	勺、	基本情報技術者記 出題頻度の高い記				- •									
学習目標(到達目標)		経済産業省主催	基本情報技行	術者試験 合格											
テキスト・教考図書・その		基本情報技術者													
回数		授業項目	、内容				学習	方法・	準備学習	習・ 1	備考				
1 情報セキ	ニュリティ				指定	教科	書P2~P3	30							
2 ハードウ	フェア				指定	教科	書P36~F	P46							
3 ソフトウ	ァェア				指定	教科	書P50~F	P62							
4 データベ	ドース			指定	教科	書P68~F	P80								
5 ネットワ	ットワーク					指定教科書P86~P98									
6 ソフトウ	ットワーク フトウェア設計				指定	教科	書P102~	P118							
7 マネジメ	ント				指定	教科	書P124~	P138							
8 ストラテ	- ジ				指定	教科	書P144~	P156							
9 データ棒	5造及びア	ルゴリズム			指定	教科	書P160~	P198							
10 ソフトウ	 フェア開発	(表計算)			指定	教科	書P284~	P303							
11 模擬試駁	(1)				第1	回模	擬試験の	実施							
12 模擬試駁	<u> </u>				第 2	回模	擬試験の	実施							
13 模擬試駁	(3)				第3	回模	擬試験の	実施							
	評	<mark>価方法・成績</mark>	平価基準					履修	上の注意	意					
検定結果50%、出 成績評価基準は、	A(40%) •			4段階とする。	特に	なし									
実務経験教員	の経歴														

(2)					机流	コンヒ	ユーダ県	引了字	牧 ン	フハス
科目名		進級制作	II		授業形態	対記	面授業/シ	遠隔授	業の併	用
担当教	員	山本	由紀子	実務授	業の有無			有		
対象学		AIS	ノステム科3年制		単位問	持間数	54	講義	実 実 習 月	実 実 競 技
必修・	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	後期		0	
授業概 授業の	要、目的、 進め方	企画、仕様設計、プロ となる技術を網羅しま うと同時に、魅力ある	す。授業の最後には、	作品の展示	発表会を行い、					
学習目 (到達		アプリケーション制作 ン開発における総合的		-ップまでを	個人、または	グループ	で行うこと	こで、ア	'プリケー	-ショ
	スト・教材・参 ・その他資料	なし								
回数		授業項目、内	容		学習	プ 方法・	準備学習	<mark>習・備</mark>	考	
1	アイデア発想			実習	(アイデア抽	出)				
2	企画立案, 企画書	作成		実習	(企画書作成))				
3	仕様設計			実習	(設計書作成))				
4	アルファバージョ	ン制作プログラミング		実習	(制作)					
5	テストケース作成	, <i>デ</i> バッグ		実習	(制作)					
6	アルファバージョ	ン提出		定斯	報告					
7	ベータバージョン	制作プログラミング		実習	(制作)					
8	テストケース作成	,デバッグ		実習	(制作)					
9	ベータバージョン	提出		定期	報告					
10	マスタバージョン	制作プログラミング		実習	(制作)					
11	テストケース作成	,デバッグ		実習	(制作)					
12	マスタバージョン	提出		定期	報告					
13	作品展示会の実施			演習	(プレゼン)					
	評	価方法・成績評価基	基準			履修	上の注意	意		
		%、出席率30%、授業態 B(40%)・C(20%)・D(特に	<i>t</i> s					
実務紹	経験教員の経歴		シ	ステム開剤	発従事:3年	Ξ				

科目名	名 Webアプリケーション II 授業形態 対面授業/遠隔授業の併用											
担当教		亀山	千恵	実務授	業の有無			有				
対象学	科	AIシ	⁄ステム科3年制		単位即	寺間数	54	講義	演習	実習	実験	実技
必修・対	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	後期	Δ		0		
授業概要	要、目的、 進め方	ウェブ・ブラウザ上で『 スターします。Webサー 語の一つであるPHPに『 どを作成して、Webア』	-バの機能を拡張し 習熟することが目的	、動的にWeb]です。WEB」	oページを生成 上でのログイン	するため(フォーム	に用いられ	1るフ	゜ログ	ラミ	ング	言
学習目標 (到達)		HTML、JavaScript、P	HPを利用したWEB	アプリケーシ	ョン開発が出き	来る。						
	ト・教材・参 ・その他資料	基礎PHP(インプレス [・]	ジャパン)、その他	配付資料								
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	図・化	請考			
1	環境設定			教員	作成資料							
2	PHPの基本構文			指定	E教科書P52~F	P144						
3	PHPでアプリケー	ションを作ってみる		指定	至教科書P146~	P205						
4	データベースとPト	HPの連携		指定	数科書P206~	P256						
5	ライブラリの利用			指定	数科書P258~	P338						
6	実習(チームごと)	に簡易ブログシステム作	成)	教員	作成資料							
	評	価方法・成績評価基	· 準 ———————————————————————————————————			履修	上の注意	ぎ				
成績評価		態度・学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(§			^{なし} 発従事: 3年	E						

(2)				,	新潟	コンピ	ュータ	早門5	字校	シ	フバス
科目名		racle DBA(データ	サイエンス)		授業形態	対ロ	面授業/	遠隔	授業	(の併	用
担当教.	員	亀山	千恵	実務授業	の有無			無			
対象学	科	AIシ	⁄ステム科3年制		単位時	寺間数	54	講義	演習	実習	実 実 験 技
必修・	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	後期	0		\triangle	
授業概義	要、目的、 進め方	商用データベース製品 運用・保守・カスタマ ことで、エンジニアと DBAの合格を目指しま	イズの技法を習得しま しての幅を一段と広げ	す。サーバエ	ンジニアに	必須となる	るデータイ	ベース	構築	をに練り	達する
学習目	目標)	ORACLE MASTER Bro Oracleデータベースの)		•							
考図書	ト・教材・参	DBA Bronze必修教本(問題集(ASC							
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・1	備考		
1	Oracleデータベー	ス管理の概要		指定教	「科書P23~F	236					
2	インストールおよ	びデータベースの作成		指定教	《科書P39~P	°66				_	
3	SQL * Plusの使用			指定教	《科書P69~P	92					
4	Oracleネットワー	ク環境の構成		指定教	《科書P95~F	P132					
5	Oracleインスタン	 スの管理		指定教	《科書P135~	P171					
6	記憶領域構造の管	理		指定教	《科書P175~	P213					
7	セキュリティの管	理		指定教	《科書P215~	P256					
8	スキーマ・オブジ	ェクトの管理		指定教	《科書P259~	P293					
9	バックアップ・リ	カバリの実行		指定教	《科書P295~	P345					
10	データベースの監	視およびアドバイザの傾	用	指定教	《科書P349~	P370					
11	問題集			指定教	《科書P25∼P	2410					
										_	
	評	価方法・成績評価基	. 準			履修	上の注意	意			
成績評価	基準は、A(40%)・	70%、授業態度・学習意 B(40%)・C(20%)・D(§		特にな	L						
天傍稻	経験教員の経歴										

•					217 1 77%	, , , , ,		, , ,) \		, .	, ,
科目名		就職実務			授業形態	対同	面授業/	遠隔	授業	の信	Ħ	
担当教	員 ————————————————————————————————————	山本	由紀子	実務授	業の有無			無				
対象学	科	Al>	⁄ステム科3年制		単位田	寺間数	54	講義	演習	実習	実験	実技
必修・	選択	必修	対象学年	2	開講	時期	後期	Δ		0		
授業概.	要、目的、 進め方	正しい履歴書の書き方、は、個人の能力に合わっを行いながら実践形式のていきます。	せてステップアップ方	式で理解し	ながら進めて	いきます。	面接試		ぎでは	、模	擬面	接
学習目標		就職活動をしていく上で	で必要な知識、マナー	を身につけ	、就職試験を	突破するこ	ことを目打	旨す。				
考図書	ト・教材・参・その他資料	勝つための就職ガイドS	Guccess(ウイネット)) 、その他	配付資料							
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・1	備考			
1	志望動機			指定	教科書P30~F	P35						
2	企業研究の方法			指定	:教科書P38~F	P51						
3	作成書類			指定	*教科書P52~F	P58						
4	企業訪問			指定	教科書P59~F	P65						
5	就職試験のマナー			指定	 教科書P66~F	P69						
6	面接試験対策			指定	*教科書P70~F	P81						
7	筆記試験対策			指定	教科書P82~F	P89						
8	受験後の報告			指定	*教科書P90~F	P93						
9	ビジネス文書の書	き方		配布	プリント							
10	筆記試験対策			配布	プリント							
11	面接試験練習			模擬	面接演習							
	評	価方法・成績評価基	<u>準</u>			履修	上の注意	意				
成績評価		30%、授業態度・学習意 B(40%)・C(20%)・D(タ		「就	職実務I」を履	修している						
2,555,12		I										

(2)	1				· ·	机向コノ	ヒューダ	分]-	于 仪	. /) /	١٨.
科目名		春期国家	《試験対策		授業形		付面授業/	遠隔	授業	美の併	押	
担当教	<u>—</u>	>-	L村 智史	実務授	業の有無	Ę		無				
対象学			AIシステム科3年制			位時間数		講義	演習	実 習	実験	実 技
必修・	選択	必修	対象学年	3		開講時期	前期	0				
授業概授業の	要、目的、 進め方		験取得を目標とする対策授 去問題を中心に対策を行っ		•							
学習目	目標)	経済産業省主催	基本情報技術者試験 合格									
	スト・教材・参	基本情報技術者	午後問題集(ウイネット)									
回数		授業項目	、内容			学習方法	・準備学	習・	備考	-		
1	情報セキュリティ			指定	:教科書P2	~P30						
2	ハードウェア			指定	:教科書P3	6~P46						
3	ソフトウェア			指定	'教科書P5	0∼P62				_		
4	データベース			指定	'教科書P6	8~P80						
5	ネットワーク			指定	:教科書P8	6∼P98						
6	ソフトウェア設計			指定	:教科書P1	02~P118						
7	マネジメント			指定	:教科書P1	24~P138						
8	ストラテジ			指定		44~P156						
9	データ構造及びア	 ルゴリズム		指定		60~P198						
10	ソフトウェア開発	(表計算)		指定		84~P303						
11	模擬試験①			第 1	回模擬試	<u>―</u> 験の実施						
12	模擬試験②			第 2	回模擬試	験の実施						
13	模擬試験③			第 3	回模擬試	験の実施						
14												
15												
	評·	価方法・成績評	" 価基準			履	修上の注	意				
成績評価			意欲20% ・D(落第)の 4 段階とする。	特に	なし							
美務約	経験教員の経歴											

(2)					利/	はコンヒ.	7 — X ÷	引力	-1文	/ / / /
科目名		U-22プログラミンク	゛コンテスト		授業形態	対i	面授業/シ	遠隔抗	受業の	併用
担当教.	員	山本	由紀子	実務授	業の有無			有		
対象学		AIシ	ステム科3年制		単位	時間数	120	講義	演 実習 習	実 実 財 財
必修・	選択	必修	対象学年	3	開講	時期	前期		0	
授業概:	要、目的、 進め方	経済産業省/総務省/プロンテスト」に出品する バックを繰り返し、個/ あるプレゼン資料の作品	るプログラム作品を制 、またはグループで1	作します。	企画、仕様設	計、プログ	ブラミング	ブ、テ	スト、	フィード
学習目		U-22プログラミングコ 審査基準を考慮し、求&			が出来る。					
	ト・教材・参	なし								
回数		授業項目、内容	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		学習	了方法・	準備学習	習・値	青考	
1	アイデア発想			実習	(アイデア抽	出)				
2	企画立案,企画書	 作成		実習	(企画書作成)				
3	仕様設計			実習	(設計書作成)				
4	アルファバージョ	ン制作プログラミング		実習	(制作)					
5	テストケース作成	, デバッグ		実習	(制作)					
6	アルファバージョ	ン提出		定期	報告					
7	ベータバージョン	制作プログラミング		実習	(制作)					
8	テストケース作成	,デバッグ		実習	(制作)					
9	ベータバージョン	提出		定期	報告					
10	マスタバージョン	制作プログラミング		実習	(制作)					
11	テストケース作成	,デバッグ		実習	(制作)					
12	マスタバージョン	提出		定期	報告					
13	PV制作			実習	(制作)					
14	プレゼン資料作成			実習	(制作)					
	評	<mark>価方法・成績評価基</mark>	準			履修	上の注意	急		
成績評価	基準は、A(40%)・	%、出席率30%、授業態 B(40%)・C(20%)・D(済	s第)の4段階とする。	特に						
夫務約	経験教員の経歴		ンフ	ヘアム開発	Ř従事: 3 ₫	F				

(2)	1					コノヒ	ユータミ	引了	- 仪	ンノ	·/\>
科目名		Android開熱	発 II		授業形態	対同	面授業/	遠隔挖	受業の	の併月	刊
担当教	員	江村	智史	実務授	業の有無		1	有			
対象学	科	AI۶	⁄ステム科3年制		単位即	寺間数	48	講義	演 習	実習	美技
必修・	選択	必修	対象学年	3		時期	前期	\triangle			
授業概	要、目的、 進め方	スマートフォン、タブ 供のAndroid OSについ また、Java言語を用い UIの制御から、Google	て、基礎理論を学びま てAndroid OS上で動作	ミす。 Fするアプリ	ケーションの	作成を行り					
学習目 (到達		メモ帳形式のアプリケ· Google Mapを使ったア		-							
	(ト・教材・参 『・その他資料	Androidアプリ開発の教	(科書(翔泳社)、その	の他配付資料	4						
回数		授業項目、内	·····································		学習	方法・	準備学習	習・備	考		
1	Androidアプリ開列	発環境の作成		指定	教科書P2~P1	17					
2	はじめてのAndroi	dアプリ作成		指定	教科書P24~F	P54					
3	ビューとアクティ	ビティ		指定	教科書P56~F	P84					
4	イベントとリスナ			指定	教科書P86~F	P102					
5	リストビューとダ	イアログ		指定	教科書104~P	120					
6	ConstraintLayout			指定	教科書P122~	P147					
7	画面遷移とIntent:	クラス		指定	教科書P150~	P173					
8	オプションメニュ	ーとコンテキストメニュ	. —	指定	教科書P176~	P198					
9	フラグメント			指定	教科書P200~	P235					
10	データベースアク	セス		指定	教科書P238~	P252					
11	非同期処理とWeb	API連携		指定	教科書P256~	P274					
12	GoogleMapの開発	8		教員	作成資料						
	評·	価方法・成績評価基	· <u></u>			履修	上の注意	意			
成績評価		学習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(3									
実務紹	経験教員の経歴		シ	ステム開発	発従事:2年	F.					

科目名		Kinectセンサ・	一演習		授業形態	対面	面授業/演	遠隔授	業の信	并用			
担当教		江村	智史	実務授	業の有無			有			\exists		
対象学	科	AIシ	ノステム科3年制	•	単位即	寺間数	48	講選	実習	実験	実技		
必修・対	選択	必修	対象学年	3	開講	時期	前期	Δ	0				
授業概 授業の	要、目的、 進め方	マイクロソフトが開発さ イスであるKinectを用い 動作するセンサーアプリ 声センサーによる音声記	いて、センサープログラ リケーションの制作を行	ラミングの テいます。	基礎理論を学び 具体的には、 [,]	びます。C	#言語を月	用いて、	Windo	ows上で	で		
学習目標 (到達		Kinectを使って基礎的な	なサービスを開発できる	5									
	ト・教材・参・その他資料	KINECTセンサープロク	^で ラミング(秀和システ	ム)									
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・備:	考				
1	Kinect開発環境の何	作成		指定	教科書P9~51								
2	OpenNI入門(カメ	ラ画像を表示、距離を済	測定、深度マップ)	指定	教科書P53~8	33							
3	OpenNI入門(ミラ	一処理、スケルトン作り	成、ジェスチャー検出)	指定	教科書P84~1	.56							
4	OpenNI入門(手の	動きをトラッキング、	データ記録/再生)	指定	教科書P157~	193							
5	NITE入門		268										
6	応用編(光学迷彩、	、背景のマスク)		指定	教科書P273~	282							
7	応用編(ポーズの	(大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)		指定	教科書P283~	310							
8	応用編(複数のKir	nectを操作、PowerPoin	itの操作)	指定	教科書P310~	321							
9	期末課題(Kinect ^z	を使ったオリジナル課題	<u>(</u>)	学生個人のPCにて制作									
10	期末課題(Kinect ^を	を使ったオリジナル課題	<u>į</u>)	学生	個人のPCにて	制作							
11	期末課題(Kinect	を使ったオリジナル課題	Į)	学生	個人のPCにて	制作							
12	期末課題評価(プ	レゼンテーション)		教員	による評価								
	評化	価方法・成績評価基	· 準 			履修	上の注意	意					
成績評価	70%、授業態度・与 基準は、A(40%)・ <mark>:験教員の経歴</mark>	芦習意欲30% B(40%)・C(20%)・D(₹		特に	^{なし} 	E							

科目名	シ	ステム開発演習I	(Python応用)		授業形態	対ī	面授業/遠	遠隔授ӭ	業の併	押							
担当教	員	佐藤	修一	実務授業	業の有無			無									
対象学	科	AI	システム科3年制		単位	時間数	48	講演	実習	実験							
必修・	選択	必修	対象学年	3		時期	前期	\triangle	0								
授業概.	要、目的、 進め方		単層・多層ニューラルネ Python3を用いて、自					と理解し	ます。	また、 							
学習目標 (到達		・機械学習環境の構築 ・自然言語処理、時系	きができる。 系列データ処理を実装で	きる。													
		PythonによるAI・機材 教員作成資料	戒学習・深層学習アプリ	の作り方													
回数		授業項目、内	内容		学習	習方法・	準備学習	・備者	Š								
1	機械学習/ディーフ	プラーニングについて		指定	教科書P18~	P56											
2	機械学習入門(ア	ヤメの分類)		指定	教科書P58~	P77											
3	機械学習入門(Al	でワインを判定)		指定	教科書P79~	P86											
4	機械学習入門(10	年間の気象データを解	析)	指定	教科書P92~	P106											
5	OpenCV (顔検出)			指定教科書P130~140						指定教科書P130~140							
6	OpenCV(文字認記	哉)		指定	教科書P141~	~P149											
7	OpenCV(動画解析	折)		指定	教科書P162~	~P179											
8	自然言語処理(言	語判定、形態素解析)		指定	教科書P180~	~P205											
9	自然言語処理(ベ	クトル化、文章分類)		指定	教科書P206~	~P222											
10	自然言語処理(自	動作文)		指定	教科書P223~	~P229											
11	SNSや掲示板への	スパム投稿を判定		指定	教科書P232~	~P246											
12	TensorFlow入門			指定	教科書P253∽	~P261											
	評	価方法・成績評価	基準			履修	上の注意	Ę.									
成績評価	70%、授業態度・ 基準は、A(40%)・ <mark>暴薬教員の経歴</mark>		(落第)の 4 段階とする。	特にフ	なし												

(2)	I					コンピ					
科目名		コミュニケーション	技法/著作権	授	業形態	対面	面授業/	遠隔:	授業	の併	用
担当教		谷内田	茂成	実務授業の			T	無 =#)	احج	<u>⇔ I → </u>
対象学		AI۶	⁄ステム科3年制		単位明	持間数	24	講義	海 習	実習	実験 実
必修・	選択	必修	対象学年	3	開講	時期	前期	0			
授業概	要、目的、 進め方	社会人として必要となる保つためのコミュニケーを進める上で避けては、ラルある活動を行うこ	-ションスキルを身に 通れない著作権の問題	付けます。また	:、インタ-	ーネットヤ	ウコンピ <i>:</i>	ュータ	を利	用して	て仕事
学習目	目標)	ビジネス著作権検定 BA	ASIC 合格 コミュニク	アーション技法	3級 合村	各					
考図書	スト・教材・参 ・その他資料	ビジネス著作権検定 BA		ト、その他配付							
回数		授業項目、内	容		学習	方法・	準備学習	習・化	備考		
1	著作権とは何か			指定教利	抖書 P1∼	P6					
2	著作権で保護され	るもの		指定教和	抖書 P7~	P22		_	_	_	
3	著作権はだれが持	つ		指定教利	抖書 P23~	~P30					
4	著作権の内容			指定教和	斗書 P31~	~P62					
5	著作権はいつまで	保護される		指定教利	斗書 P63~	~P82					
6	勝手に使える場合	がある		指定教科	斗書 P83~	~P132					
7	脚気に使うとどう	なるか		指定教利	斗書 P133	~P158					
8	問題答練			プリント	`						
9	コミュニケーショ	ンの重要性		指定教利	抖書 P6	~ P52					
10	コミュニケーショ	ンの手段		指定教科	斗書 P53	~ P10)8				
11	自分に合ったコミ	ュニケーション能力を身	たつけよう	指定教和	斗書 P109	~ P1	155				
12	問題答練			プリント							
	<u></u>	価方法・成績評価基	準			履修	上の注意	意			
成績評価		授業態度・学習意欲20 B(40%)・C(20%)・D(§		特になし							
大伤的	上吸氷貝の在歴										

科目名		就職実務		授業形態 対面授業/遠隔授業の併用							
担当教		江村	智史	実務授	業の有無			無			
対象学	科	AIシ	ステム科3年制		単位田	寺間数	36	講義	演習習	実験	実 技
必修・対	選択	必修	対象学年	3	開講	時期	前期	\triangle	0		
授業概.	要、目的、 進め方	個別相談を随時行いなか 目標に履歴書の作成や、 す。また、企業説明会かます。	面接試験練習、筆	記試験を突破	するための一	般常識や、	SPI試験	食の徹	底対策	を行いま	ŧ
学習目標 (到達)		就職内定を目指し、企業る。	業で通用する履歴書	の作成及び面	接試験を突破	するための	の自己表現	見が出	来るよ	うにな	
	ト・教材・参・その他資料	配付資料									
回数		授業項目、内			学習	方法・	準備学習	習・位			
1	業界研究 (どのよ を選ぶのか?)	うな業界・職種があるの	か、どのような仕事	事・会社 配布	資料						
2	履歴書・エントリ	ーシートの作成方法		履歴	書演習						
3	SPI(非言語系)			配布	プリント						
4	SPI (言語系)			配布	プリント						
5	面接試験練習(個.	人)		模擬	面接演習						
6	面接試験練習(グ	ループ面接)		模擬	面接演習						
7	面接試験練習(グ	ループワーク)		模擬	面接演習						
	評	価方法・成績評価基	<u>準</u>			履修	上の注意				
成績評価		30%、授業態度・学習意 B(40%)・C(20%)・D(ヌ		「就	職実務I亅,「勍	武職実務Ⅱ」	を履修し	ている	らこと		

(2)				<u> </u>		;コンピ. 					
科目名		ベンダー試験			授業形態	対面	面授業/		授業	の併	押
担当教	-	江村		実務授業				無	浡	史	<u> </u>
対象学			⁄ステム科3年制			寺間数	81	講義	演習	実習	実験技
必修・	選択	必修	対象学年	3	開講	時期	後期	0			
授業概算	要、目的、 進め方	国際的なIT関連資格・記 出題頻度の高い過去問題				る対策授	業です。				
学習目標		CompTIA Security+の1	合格								
	ト・教材・参	Security+ セキュリテ	ィ社会の必修科目(ウ	7チダ人材開	発センタ)						
回数		授業項目、内	·····································		学習	方法・	準備学習	習・1	備考		
1	情報セキュリティ	の概要		指定	教科書P1∼P1	11					
2	暗号技術			指定	数科書P13~F						
3	ネットワークと認	証の基礎		指定	教科書P53~F	94					
4	多様なネットワー	ク技術とセキュリティ		指定	教科書P95~F	P137					
5	攻撃者の概要			指定	数科書P139~	P180					
6	情報セキュリティ	ポリシーと脆弱性検査		指定	数科書P181~	P206					
7	認証技術			指定	教科書P207∼	P243					
8	アクセス制御と強	化、環境整備、物理セキ	ニュリティ	指定	教科書P245∼	P279					
9	無線LAN、モバイ	ル機器、テレワーキング	でとSNS、仮想化技術	指定	教科書₽281∼	P305					
10	モニタリング、ロ	グ、フォレンジックス、	冗長構成、事業継続性	生計画 指定	教科書P307∼	P338					
11	模擬試験①			第1[回模擬試験の	実施					
12	模擬試験②			第 2 [回模擬試験の	実施					
13	模擬試験③			第3[回模擬試験の	_ _ 実施					
	評	価方法・成績評価基	準			履修.	上の注意	意			
成績評価		. 授業態度・学習意欲20 B(40%)・C(20%)・D(§		特にな	r L						
大/方心	がお見り性症										

(2)	新潟コンピューダ専門学校 フラ 自名 機業形態 対面授業/遠隔授業の併序												
科目名			授業形態 対面授業/遠隔授業の併用 実務授業の有無 無										
担当教			智史	実務授	業の有無	ļ.	_	—					
対象学			ノステム科3年制			z 時間数	120	講義	演習	実習	美	天 技	
必修・	選択	必修	対象学年	3	3								
授業概義	要、目的、 進め方	基本情報技術者試験取 出題頻度の高い過去問別			۰								
学習目	目標)	経済産業省主催 基本	情報技術者試験 合格										
	ト・教材・参・その他資料	基本情報技術者 午後	問題集										
回数		授業項目、内	容		学	習方法・	準備学	图•	備考	-			
1	情報セキュリティ				教科書P2~	P30							
2	ハードウェア				教科書P36~	~P46							
3	ソフトウェア				教科書P50~	~P62						_	
4	データベース				指定教科書P68~P80								
5	ネットワーク			指定	指定教科書P86~P98								
6	ソフトウェア設計			指定	指定教科書P102~P118								
7	マネジメント			指定	指定教科書P124~P138								
8	ストラテジ			指定	指定教科書P144~P156								
9	データ構造及びア	ルゴリズム		指定	指定教科書P160~P198								
10	ソフトウェア開発	(表計算)		指定	指定教科書P284~P303								
11	模擬試験①			第1	第1回模擬試験の実施								
12	模擬試験②			第2	第2回模擬試験の実施								
13	模擬試験③			第 3	第3回模擬試験の実施								
	評	価方法・成績評価基	準			履修	上の注意	意					
		. 授業態度・学習意欲20 B(40%)・C(20%)・D(3		特に	なし								
実務経	経験教員の経歴												

科目名		卒業制作		授業形態 対面授業/遠隔授業の併用								
担当教	員	江村 智史	実務授業	業の有無			有					
対象学	科	AIシステム科3年制		単位問	詩間数		講演習	実実技				
必修・	選択	必修 対象学年	3	開講		後期						
授業概要、目的、 授業の進め方		ション開発における総合的なスキルを修得しま スなどのアプリケーション開発をする上で必ず	きす。企画 『必要とな	ョン制作を個人、またはグループで行うことで、アプリケー。企画、仕様設計、プログラミング、ユーザーインタフェー要となる技術を網羅します。授業の最後には、作品の展示発行うと同時に、魅力あるプレゼンテーションの手法も学びま								
学習目7		オリジナルアプリケーションの完成										
	ト・教材・参	教員作成資料										
回数		授業項目、内容		学習	方法・	準備学習	・備考					
1	テーマ選定・企画	作成	教員	作成資料								
2	企画プレゼンテー	ション	教員	によるフィー	ドバック							
3	α 版制作		学生	個人PCでの作	業							
4	α 版制作	学生	学生個人PCでの作業									
5	中間プレゼンテー	ション	教員	教員によるフィードバック								
6	β版制作		学生	学生個人PCでの作業								
7	中間プレゼンテー	ション	教員	教員によるフィードバック								
8	完成版制作		学生	学生個人PCでの作業								
9	最終プレゼンテー	ション	教員によるフィードバック									
	評	価方法・成績評価基準			履修	上の注意						
成績評価	度70%、授業態度 基準は、A(40%)・ <mark>&験教員の経歴</mark>	B(40%)・C(20%)・D(落第)の4段階とする。	特に対	^{なし} 8従事:2年	Ξ							

科目名	システム)	授業形態 対面授業/遠隔授業の併用												
担当教	員	佐藤	藤 修一	実務授業	業の有無		有			1					
対象学	科	А	Iシステム科3年制		単位時	持間数	54 <mark>講</mark> 義	演習	実験						
必修・	選択	必修	対象学年	3	開講		後期 △								
授業概 授業の	要、目的、 進め方	Learningや、Amazo	用するための分析(アナ n Machine Learningとし プなどの単なるデータに	ウドを用いて、	. Webサ	イトのアクセ	スログヤ								
学習目 [;] (到達		・機械学習環境の構築ができる。 ・自然言語処理、時系列データ処理を実装できる。													
	ト・教材・参	Pythonクローリング	&スクレイピング(技術	京評論社)											
回数		授業項目、	内容		学習	方法・	準備学習・	備考							
1	クローリング・ス	指定	指定教科書P2~24												
2	Pythonではじめる	指定	教科書P26~6	2											
3	強力なライブラリ	指定	指定教科書P64~102												
4	実務のためのメソ	指定	指定教科書P104~124												
5	クローリング・ス	指定	指定教科書P126~173												
6	クローリング・ス	指定	指定教科書P173~223												
7	フレームワーク	指定	指定教科書P226~260												
8	フレームワーク	Scrapy		指定	指定教科書P261~304										
9	クローラの継続的	な運用・管理		指定	指定教科書P306~356										
									_						
	評	価方法・成績評価	i基 ^準			履修	上の注意								
成績評価	70%、授業態度・管基準は、A(40%)・ 基準は、A(40%)・ な験教員の経歴		D(落第)の4段階とする。 株式会社		テム開発演習		5用)を履修し	ているこ	٤						
ノングカルコ		İ	インスなり	- ハノノバルコベル	ハHnuWIブルバ	490.55									

(2)					和 添	1 / [ュータミ	子] -	产仪	ン	フハノ			
科目名			授業形態 対面授業/遠隔授業の併用											
担当教	員	江村 智史 実務			務授業の有無無無									
対象学	科	AIシステム科3年制			単位明	単位時間数		講義	演習	実習	実 実 験 技			
必修・	選択	必修	対象学年	3	開講	時期	後期	0						
授業概	要、目的、 進め方		違う様々な人々と関わりながら、意思疎通を図り、協力しなが 求められる「社会人として働くマナーやルール」を知り、その											
学習目 (到達]滑な人間関係を築くための基礎を身につけることが出来るよ しての立ち振る舞いが出来るようになる。									
考図書	スト・教材・参 ・ その他資料	社会人常識マナー検定・		その他配付資										
回数		授業項目、内	容				準備学習	習・化	備考					
1	ビジネス計算				教科書P1~P1	13								
2	ビジネスコミュニケーション			指定	*教科書P14~F	217								
3	社会人にふさわしい言葉遣い			指定	指定教科書P18~P26									
4	ビジネス文書の活用			指定	指定教科書P27~P29									
5	職場のマナー			指定	指定教科書P30~P35									
6	来客対応			指定	指定教科書P36~P37									
7	電話対応			指定	指定教科書P38~P51									
8	交際業務			指定	指定教科書P52~P58									
9	文書類の受け取り	と発送		指定	指定教科書P59~P65									
10	会議			指定	指定教科書P66~P69									
11	ファイリング			指定	指定教科書P70~P81									
<u> </u>														
	評	<mark>価方法・成績評価基</mark>	<u></u> 準		履修上の注意									
成績評価	i基準は、A(40%)・	30%、授業態度・学習意 B(40%)・C(20%)・D(3	客第)の 4 段階とする											
実務経	経験教員の経歴		シ	ステム開発	発従事:2年	Ē								

科目名		自然科学概		授業形態 対面授業/遠隔授業の併用											
担当教		小田 尚智 実務			業の有無			無							
対象学	科	AIシ	⁄ステム科3年制		単位日	時間数	27	講義	演習	実習	実験	実技			
必修・	選択	必修	対象学年	3	開講	時期	後期	0	\triangle						
授業概要、目的、 授業の進め方		我々の日常生活を科学的 客観的にみる力を養い。 つけます。													
学習目標		様々なことに関心を持っ 科学的な考え方にもとっ			自分の理解や	意見を述べ	べることだ	ができ	る。						
テキス	ト・教材・参	配布資料													
回数		授業項目、内	容		学習	了方法・	準備学習	習・化	備考						
1	自然科学について				配布資料										
2	自然科学の分類				配布資料										
3	自然科学の基礎				配布資料										
4	自然科学の応用				配布資料										
5	身の回りにおける自然科学				配布資料										
6	課題によるレポート作成			レポ	レポート提出										
評価方法・成績評価基準					履修上の注意										
成績評価	提出40%、出席率3 基準は、A(40%)・ <mark>験教員の経歴</mark>	特に	<u></u> -												